

「4」をもらいました。多分、長男が付けてもらった通知表の体育科目の最高に嬉しい評定であったと思います。もちろん、その通知表を手にした母親の私もビックリするとともに、つき上がってくる両手いっぱい嬉しさを噛みしめて、「体育、苦手だったのに、よく頑張ったね。お母さん、とても嬉しいよ。」と、我が子を心から褒めました。

何年か後、A先生と直接お話できる機会がありましたので、思い切って、「あのとき、どうして長男に『4』を付けてくださったのですか？」と訊きました。

すると、A先生は「B君は、確かにスポーツは上手くないのですが、彼は、あの学年のとき、保健体育の教科係としての仕事を立派にやり遂げたのです。体育の授業の準備も後始末も、シッカリと一生懸命にやってくれました。彼のそこに付けた『4』です。」と言われました。

長男は、この「4」によって、自信をつけました。翌年も、「去年やり残したことをやりたいから……。」と、長男は保健体育科の教科係として、自分から手を挙げたそうです。

母親として、本当に嬉しく、長男の鈍い光をシッカリと見つけて、褒めてくださったA先生に感謝致しました。子育ての中で、何十人という先生方と巡り会うことができましたが、私共親子にとって、

特に忘れることのできない心に残る先生です。



偶然とは、単なる偶然ではなく、人智をはるかに超えた必然中の必然と申しませんが、A先生は、かつて老生と同じ中学校に勤務し、折に触れてよく語り合った同僚教師であったことに、不思議な縁を感じました。そこで、現在も中学校で活躍されているA先生に、B君の母親からいただいたお便りのことをお伝えしました。

さすがにA先生は、B君のことも、「4」の評定も、鮮明に覚えており、「嬉しいことです。B君のお母さんは、30年も前のことを今もはっきりと覚えていらっしゃるのですね。お聞きして、私も当時のことが懐かしくよみがえってきま

した。時代も、学校教育現場も変わりましたが、日々の繁忙さにかまけることなく、教師が、生徒一人一人にきちんと向き合い、生徒が頑張っていることを適切に評価したり、褒めたりすることを、新たな気持ちで実践していきたいと思えます。」と言われました。

澄んだ水面に波紋が静かに広がり、その波紋に新しい波紋が重なり合う光景が目につかびました。ジレンマに陥ることの多い身にとって、まことに有難く、嬉しいお便りでした。

老いの苦言のような提言を、きちんと受け止めてくださる方がいらっしやることを励みに、これからも古い世代の役割を、自分なりに、自分らしく果たしていきたいと存じます。

一年間、ありがとうございました。

相談時間等 月・水・金曜日

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館/
午前 11時40分～午後1時30分
電話 56-0303 (直通)
有線 8889 (直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の教頭先生へご連絡をお願いします。

長野県・長野県教育委員会・長野県警察本部

ひとりで悩まずに いつでも相談してください

● 県の相談電話 ●

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| いじめの相談……………24時間いじめ相談電話 | 0570-078310 |
| 虐待の相談……………児童虐待・DV24時間ホットライン | 0263-91-2410 |
| 犯罪被害の相談……警察本部警察安全相談窓口 | #9110
(026-233-9110) |

上記の相談電話は、24時間いつでも受け付けています。

